

今月のおもな記事

- 特養あずみの里裁判(1面)
- 県連学術運動交流集会での講演(2面)
- 地協事務長会議(3面)
- 辺野古埋め立て阻止国会大包围(4面)
- 3・11から5年、原発再稼働反対行動(4面)



長野県民医連

長野県民主医療機関連合会
2016年3月25日 第303号

事務局
〒390-0803 松本市元町2-9-11 民医連会館2F
☎0263-36-1390 FAX 0263-33-1229
Eメール kikanshi@n-mr.com
URL http://www.mintyo.or.jp/min-iren
[月1回25日発行 定価100円+加盟院所職員は会費に含む]

「特養あずみの里業務上過失致死事件裁判」で無罪を勝ち取ろう!!

この裁判には 介護の未来が かかっています

「明日は我が身だ」と感じてしまった。万一、有罪判決が出てしまった場合、怖くて介護を続けることができない。「この事故が有罪になつてしまつて看護職・介護職になる人がますます減る」「怖くて利用者さんに触れることができない」…これらは、この事故の学習会と「無罪を勝ち取る会」への支援を訴えた時に寄せられた声の一部です。この裁判は、この声のごとく職員を委縮させ、貴重な働き手をますます少なくし、よりいっその介護現場の困窮を予測させます。

経営者側も危機回避のために、介護事故につながる可能性の高い人を切り捨て（排除し）、利用者さんは望まない生活を余儀なくされ、豊かな老後をはばまれることになりかねません。

事故の経緯と異常な刑事訴追

2013年12月、特養あずみの里の食堂でおやつを食べた80代の女性の利用者が心臓停止状態になりました。速やかに蘇生を試みながら救急搬送しましたが、意識が戻らないまま1か月後に亡くなられました。

事故当時、17人の利用者に職員3人で対応していましたが、事故から1年後、検察は准看護師の山口さんが注意義務を怠つたため、女性利用者に誤嚥させ、窒息させたとして「業務上過失致死」の容疑で在宅起訴しました。

介護の現場での刑事事件としての起訴は、全国的に例がありません。また、起訴までの経緯も異様なものでした。利用者の存命中の施設捜索、意図的な判断があると思える誤嚥・窒息事件としての立件、示談後であるにも関わらずの刑事訴追、何度にもわたる関係者への事情聴取と膨大な資料の押収等が行われました。

これらは、介護現場、とりわけあずみの里への攻撃であり、現場で起きた不幸



長野地裁松本支部での裁判傍聴 支援に集まったみなさん。近くの会場で弁護団から報告を受ける



「特養あずみの里業務上過失致死事件裁判で無罪を勝ち取る会」が発行したパンフレット

な事故に対して、近くにいた一職員に正当な根拠もなく、法的責任を負わせ犯罪者にしてしようとしている「不当な起訴」であると一言づるを得ません。

弁護団は事故当時を再現して無罪を主張

3月14日、第4回公判が行われた松本地方裁判所は、季節外れの大雪にも関わらず、150人もの支援者で溢れていた。山口さんの無罪を信じ、健全な介護・福祉の現場を願う一心で駆け付けた方々です。

その思いや期待を背負い、26人（当日は13人）の弁護団は冒頭陳述を行いました。弁護団は入念に事故当時の状況を再現した結果、「山口さんは、見守りを怠つたわけではなく、全介助が必要な他の利用者の対応をしていたので、注意義務違反があったとは言えない」、死因についても、最後に職員が女性を確認してから28秒後に急変したこと、窒息ということから「何らかの疾患だった」と推測し、山口さんの行為と女性の死亡に因果

検察と弁護側の主張の一部

検 察	弁 護 側
女性は食事中に食物を口に詰め込む特癖があり、誤嚥する恐れがあった	女性は食物を口に詰め込んだり、喉に詰まらせたことはない(介護日誌より)
女性が間食のドーナツを誤嚥することがないように、被告が動静を注視して事故を未然に防ぐ義務がある	女性は自分で食事ができ、見守りの必要性は低い。被告は全介助が必要な入居者の食事を手伝っていて、女性を注視することは不可能
被告は同じテーブルにいた3人を注視すべき	食堂では17人の利用者に対し、被告を含め3人の職員で気を配っていた。被告は、看護業務が主で、間食介助は応援だった
女性は、ドーナツを誤嚥させ、窒息により心臓停止状態に陥り死亡した	女性の気管やのどにドーナツは詰まっておらず、誤嚥でも窒息でもない

関係はないと主張しました。検察側と弁護側の具体的な主張が出揃つたので、次回は7月6日、関係者の証人尋問や、双方の主張を裏付ける証拠の調べが行われる予定です。

「無罪を勝ち取る会」への参加を

私たち介護にかかわる職員は、利用者お一人おひとりが望む生活や願いが叶えられる社会、豊かな老後のために、人々との温かなふれあいと信頼関係が不可欠であり、その上にこそ、健全で安定した医療・介護・福祉活動が営まれると考えています。それをばばこの裁判は敗るわけにはいきません。より多くのみなさんの理解と「無罪を勝ち取る会」への支援、協力を訴えます。ともにたたかていきましょう。

切 開

長野医療生協の「2000万署名 本気新聞」に看護師のめざましい活躍が。原動力は①師長会での民医連新聞の読み合わせ②管理者研修の「阿智村の満蒙開拓団」フィールドワーク③戦争法反対の黒衣行動からだそうです▼歴史の真実を知つた研修会の帰りの車中では、病院に到着するまで発言が途切れなかったこと。スタンディングでは黒衣を着ることに抵抗があつたが一人ひとりがマイクを握ることまでできたこと。その流れの中で「今、あたりまえのように署名活動ができていくんです」と看護部長は語ります▼県連学術交流での健和会の「脱原発金曜日行動の意義と成果」では、小さな行動だが継続すること。この行動が戦争法反対・辺野古基地建設反対運動に受け継がれてきたこと。このスタイルが「文化」となってきたと報告されました▼主体者としての私たちの行動ルーツは、5年前の大震災と原発事故です。政治の不合理に目をつぶつてはならない。おかしなことは声をあげよう。行動しよう。この4年間さまざまな分野で豊かに広がりました▼あなたのバッグの中の署名用紙、今度はどなたに届けますか。(示)

平和憲法守る私の声 27

NO WAR! 五味 春人 諏訪共立病院・医師

私は1934年生まれ。八ヶ岳山麓でいたずら小僧のまま軍国少年に育てられ、国民学校6年の時に敗戦。古い教科書に墨を塗らされて使い、翌年に入った新制度の中学・高校で民主主義を習い、配布の憲法読本も読みました。登山ばかり熱心な生徒でした。

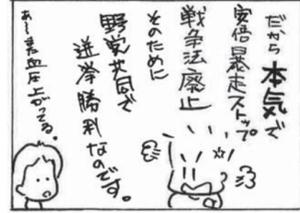


1953年から6年、仙台で学生寮に入り理路整然・情熱的な学友達が、遅れて来た私を鍛えてくれました。もろもろ街頭行動もあったし社医研の流れやセツメントの活動にも参加しました。卒後、インターンをした秋田で民医連の医師奨学生にしてみらい、東京での大学無給医局員の当初は60年安保闘争の最中でした。その後、民医連医師としての50年余、現憲法のもと、平和と民主主義の戦列にいたのだと思っています。

先日、宜野湾市長選応援に諏訪共立病院若手職員2人と行ってきました。老健すずかぜのホールで青年職員の話しを聞き、三上智恵監督の辺野古座り込みの映画を見て貰ったのが参加のきっかけです。翁長知事の選挙出陣式のスピーチを聞き、全国から駆けつけた民主団体の人達と沖繩民医連事務局の指示で活動し、ほんの一時だけ辺野古の座り込み場も訪れました。長野民医連が、故東原進先生はじめ大勢で沖繩支援をして来た意味も考える日々でした。市長選は残念ながら負けましたが、辺野古に基地を造らせないオール沖繩の民意は、県と国の裁判闘争を含めて、ジグザグはあっても必ず勝利すると思っています。

「戦争か平和か、貧困拡大か社会保障充実かの岐路」と民医連総会報告は現在を表現しています。2000万署名は今この時代を生きる私たちにとって適切な運動です。皆さんは、若者らしく明るく多彩な形で運動を進めてください。

おもしろい話



2月17日、地協の病院事務長研修交流会が医療生協さいたまで開催されました。

1日目はMMオフィス代表の工藤高さんを講師に、診療報酬改定セミナーが行われました。工藤さんは診療報酬制度からの病院経営戦略立案を専門とし、日経ヘルスケアやC B ニュースなどで定期連載をしています。

講演内容は、7対1入院基本料に関することが中心でした。平均在院日数と重症度看護必要度割合は密接な関係にあることを示し、空床が出てくると退院日を

伸ばし、ベッドを埋めたいことを「禁断の毒りんご」と称しました。また、平均在院日数の長期化だけでなく、看護必要度割合を下げ、DPC効率性指数も下げることにつながるため、結果的には7対1要件の維持困難と収益性低下を招くことになることと警鐘を鳴らしました。

今年度の改定は、地域医療構想で病院の機能分化がすすむ中、厚労省が設定したハードルに満たない、また違う用途で使用している医療機関をピンポイントで狙い撃ちしてきています。地域医療に

地協・事務長 研修交流会 会議開かれる

事務長が一堂に会し学び、交流

仲ばし、ベッドを埋めたいことを「禁断の毒りんご」と称しました。また、平均在院日数の長期化だけでなく、看護必要度割合を下げ、DPC効率性指数も下げることにつながるため、結果的には7対1要件の維持困難と収益性低下を招くことになることと警鐘を鳴らしました。



こたえる形で急性病棟を持つちつつ、回復期リハ病棟や地域包括ケア病棟、慢性期病棟等を総合的に展開してきた多くの民医連病院にとって、この内容は厳しいものです。

2日目の会議では、「急性期をどう存続できるか」「地域包括ケアにどう対応するか」「事務長同士の悩みが出されました。自医療圏の中で何をやっていくのか?」地域の中で自院のポジショニングをより明確にした上で改定対応に望む必要があると感じました。

2分で読めるミニ学習

近年、卒業式、入学式で「日の丸」を掲げ、「君が代」を歌うことが普通になっていますが、戦前のような軍国主義、全体主義に戻そうとするような臭さを感じます。教育現場での様子を長野県教職員組合執行委員の坂下力さんに聞きました。

卒業式・入学式の時期です。式の主人公は卒業・入学する子どもたちです。しかし1989年の学習指導要領の改定、99年の国旗・国歌法強行可決から卒業式などへの介入がはじまりました。

東京では、式の「君が代斉唱で起立しなかつたこと」公立学校の先生たちが懲戒処分を受けました。処分を受けた先生たちは、都教育委員会と都に取り消しを求めて訴え、最高裁までたたかいました。

大阪では公立学校の先生に「君が代」起立斉唱を義務づけし付けを許さず、子どもたちが主人公の卒業式・入学式に卒業式・入学式の時期です。式の主人公は卒業・入学する子どもたちです。しかし1989年の学習指導要領の改定、99年の国旗・国歌法強行可決から卒業式などへの介入がはじまりました。

戦前教育で個人の思想信条を無視してこれが強制されてきた歴史に対し、快く思わない人はたくさんいます。外国籍児童に対して強要することは、教員として良心が許さなという先生もいます。今後内心の自由を保障し、押し付けを嫌う先生や子どもたちを処罰、叱責する事につながる「日の丸」君が代の強制は厳に慎むべきです。



学運交参加者

「地球的俯瞰外交」と原発再稼働や海外への売り込み、国会決議を反故にするTPP参加への固執です。法人税の引き下げ財源を、社会保険の改悪、国民皆保険体制解体に求めています。第3に、国民

「運動の昂揚を作った」 今回の共同は、安保闘争と違い、市民運動がインターネットをとり、多くの運動団体が「総がかり行動実行員会」に結集し共同しました。さらに5月にはかつてない野党共同も実現しました。

「改憲をはばみ戦争法を廃止する闘い」 今後の運動は、以下のことが大切です。 ①2000万人署名と同時に

①「日の丸」君が代の押し付けを許さず、子どもたちが主人公の卒業式・入学式に卒業式・入学式の時期です。式の主人公は卒業・入学する子どもたちです。しかし1989年の学習指導要領の改定、99年の国旗・国歌法強行可決から卒業式などへの介入がはじまりました。

安倍首相の思い

安倍首相は、戦後日本を中国と肩を並べる軍事大国にする野望があります。アメリカの威を借り、アジアの代理人となろうとしています。そのため、第1に、戦争する国づくりと明文改憲があります。第2に、大企業を繁栄する新自由主義改革を目指すことです。

「運動の昂揚を作った」 今回の共同は、安保闘争と違い、市民運動がインターネットをとり、多くの運動団体が「総がかり行動実行員会」に結集し共同しました。さらに5月にはかつてない野党共同も実現しました。

「改憲をはばみ戦争法を廃止する闘い」 今後の運動は、以下のことが大切です。 ①2000万人署名と同時に

①「日の丸」君が代の押し付けを許さず、子どもたちが主人公の卒業式・入学式に卒業式・入学式の時期です。式の主人公は卒業・入学する子どもたちです。しかし1989年の学習指導要領の改定、99年の国旗・国歌法強行可決から卒業式などへの介入がはじまりました。

安倍首相とは

安倍首相は、戦後日本を中国と肩を並べる軍事大国にする野望があります。アメリカの威を借り、アジアの代理人となろうとしています。そのため、第1に、戦争する国づくりと明文改憲があります。第2に、大企業を繁栄する新自由主義改革を目指すことです。

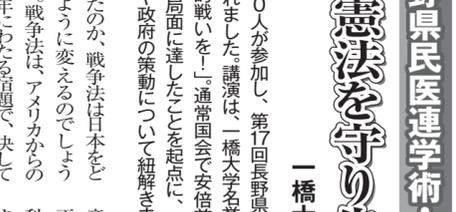
「運動の昂揚を作った」 今回の共同は、安保闘争と違い、市民運動がインターネットをとり、多くの運動団体が「総がかり行動実行員会」に結集し共同しました。さらに5月にはかつてない野党共同も実現しました。

「改憲をはばみ戦争法を廃止する闘い」 今後の運動は、以下のことが大切です。 ①2000万人署名と同時に

①「日の丸」君が代の押し付けを許さず、子どもたちが主人公の卒業式・入学式に卒業式・入学式の時期です。式の主人公は卒業・入学する子どもたちです。しかし1989年の学習指導要領の改定、99年の国旗・国歌法強行可決から卒業式などへの介入がはじまりました。

第17回長野県民医連学術・運動交流会開かれる

3月5日、松本大学で約300人が参加し、第17回長野県民医連学術・運動交流会集会が行われ、17演題が発表されました。講演は「橋本五右衛門教授・渡辺治氏の戦争法廃止、憲法を守る生かす国民的戦いを」。通常国会で安倍首相が改憲発言をしたことで、安倍政権との新たな対決の局面に達したことを起爆点に、このような経緯となった具体的事例を交え、運動の到達点や政府の策動について細解しました。概要を報告します。



講演する渡辺治名誉教授

「改憲をはばみ戦争法を廃止する闘い」 今後の運動は、以下のことが大切です。 ①2000万人署名と同時に

①「日の丸」君が代の押し付けを許さず、子どもたちが主人公の卒業式・入学式に卒業式・入学式の時期です。式の主人公は卒業・入学する子どもたちです。しかし1989年の学習指導要領の改定、99年の国旗・国歌法強行可決から卒業式などへの介入がはじまりました。

「改憲をはばみ戦争法を廃止する闘い」 今後の運動は、以下のことが大切です。 ①2000万人署名と同時に

東 南 西 北

北朝鮮の核実験... 中国の脅威... 日本を守るべきだ...

安保憲法は必要だ... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

安倍政権は... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

東 南 西 北

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

安倍政権は... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

東 南 西 北

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

安倍政権は... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

東 南 西 北

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

安倍政権は... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

東 南 西 北

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

安倍政権は... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

東 南 西 北

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

安倍政権は... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

東 南 西 北

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

安倍政権は... 野党共闘... 憲法を守るべきだ...

野党共闘... 憲法を守るべきだ...

3・11から5年

フクシマとともに、

再稼働急ぐ安倍政権と

たたかおう！

東日本大震災・福島第一原発事故から5年が経ちました。今なお18万人以上が避難生活を送り、応急仮設住宅に7万6000人が暮らしています。メルトスルーした第一原発の格納容器には未だに近づく事もできず、30年から40年かかるという廃炉に向けた工程は一向にすすんでいません。3月11日、被災者支援と一刻も早い復興を求め、危険な原発再稼働に反対する行動が各地で取り組まれました。



上伊那

老健はびろの里社保平和委員会では、3月4日に原発ミニ学習会とキャンドルづくりを行いました。地域のみなさんと合流した3月11日の伊那市駅前追悼スタンディングで、キャンドルを「3・11」の形に灯しました。12日には映画「グレーゾーンの中」上映会と、集会・パレードにも参加し「さよなら原発」をアピールしました。

東信

3月13日、真田幸村の銅像がある上田駅前で、約80人が参加して集会が行われました。子連れのお母さんも多く、福島県飯館村から上田に避難して農業を営んでいる人は、「村では無農薬栽培に取り組んできたが、原発事故がすべてを台無しにした。原発ある限り惨事は絶対になくならない」と怒りを込めて発言しました。



飯伊

3月11日、健和会病院では、院内の①福島支援委員会②労働組合③原発本当に必要会?の主催で、約30人の職員が昼休みを利用して病院前でアピール行動をしました。この他、8か所で地域のみなさんと一緒に、のべ125人が参加して福島を忘れないという熱いメッセージを届けました。

中信



3月13日、松本駅前広場で800人の参加で、「つながろうフクシマ!ひろげよう脱原発!in 松本」を開催。京大退官後に松本に暮らす小出裕章先生が、「超法規的な原子力非常事態宣言下に5年間置かれている。東京電力は誰も罪を問われないまま。罰することで、危険な原発の無責任な再稼働はとめられる」と発言。全原発の廃炉まで闘うぞ!



諏訪

3月11日、JR上諏訪駅前におおよそ20人が集まり、青年平和委員会の活動の一環で月に一度行っている「脱原発アクション」を行いました。今回はキャンドルを灯しながら「脱原発」をアピールし被災地に想いを寄せました。これからも活動や学習を続け、常に共にありたいと思います。

長野



3月13日、長野市の南千歳公園で「つながろう福島!ひろげよう脱原発!」3・13長野集会が行われ、長野医療生協の職員21人、組合員20人を含む、350人が参加しました。会場は、職員・組合員で作ったカラフルな風車で飾られ、集会後には参加者が手に持ってパレードを行い、脱原発を呼びかけました。